

平成 23 年 5 月 27 日

一般社団法人 電子情報技術産業協会

## 電子情報技術産業協会会長賞 (JEITA 会長：下村節宏)

一般社団法人 電子情報技術産業協会は、本年 4 月 1 日より「一般社団法人」へ移行し、新制度での活動を開始いたしました。前身である日本電子機械工業会 (EIAJ)、日本電子工業振興協会 (JEIDA) を含め、60 余年に亘って IT・エレクトロニクス産業の諸課題に取り組むことにより、わが国の経済発展に寄与してまいりました。

会員会社をはじめとして大変多くの関係の方々に、当協会の事業活動に携わっていただき、その事業の数々は広く社会から高い評価を頂くとともに、産業・経済の発展、国民生活の向上に貢献してまいりました。まさに、世界のトップレベルにあるわが国の IT・エレクトロニクス技術の発展の歴史そのものであります。

電子情報技術産業協会会長賞は、電子情報産業の発展、新技術・新市場の開発、国際競争力の強化並びに公益法人としての消費者保護・環境保護など公共の福祉の増進などに著しく功績のあった個人・組織を会長が表彰するものであります。

第 3 回となる本年度は、時代を色濃く反映し次のように 3 名、3 組織が受賞し、5 月 27 日の定時社員総会後に表彰式が行なわれました。

### 【第 3 回 JEITA 会長賞の概要】

(敬称等略 受賞者の所属は受賞時)

- 地球温暖化対策事業への貢献及び永年に亘る業界振興への功績  
[1978 年から 33 年間にわたる業界への振興及び JEITA の電機電子業界の地球温暖化対策事業の中心的人物として活躍]  
浦田 信一 (元パナソニック株式会社)
- 医用電子機器の国際標準化活動及び産業振興への功績  
[1990 年から 20 年間にわたる業界への振興及び医用電子機器の国内外標準化活動に尽力]  
内藤 正章 (日本光電工業株式会社)
- 「電子情報産業の世界生産見通し」調査事業の立ち上げへの功績  
[1990 年から 20 年間にわたる業界への振興及び「電子情報産業の世界生産見通し」策定の基礎確立に貢献]  
為谷 素也 (横河電機株式会社)
- 半導体における PFC 排出削減の推進の功績  
[PFC 排出量削減推進による地球温暖化抑制への貢献]  
JEITA 半導体部会／半導体環境委員会・PFC 専門委員会・地球温暖化対策特別委員会
- 「電子商取引の普及・促進によるビジネスインフラの整備」への貢献  
[電子商取引の普及・促進及び自動車業界との業際 EDI 化の実現]  
JEITA 企業間 EC 委員会 (EC センター)／SCM 委員会・情報技術委員会・業際協調 TF
- 統計事業「電子部品企業のグローバル動向調査」の功績  
[80 社を対象とした世界初ともいえるグローバル出荷ベースの調査]  
JEITA 電子部品部会／統計・予測委員会

以上

## 事業／功績の概要

### ➤ 地球温暖化対策事業への貢献及び永年に亘る業界振興への功績

地球温暖化対策に係わる事業活動において、業界自主行動計画策定、家電分野の国内クレジット制度、国際間省エネ協力活動推進、二国間クレジット制度の構築推進など、電機電子業界が直面する温暖化対策関連の諸課題解決に向けてリーダーシップを発揮し貢献した。

### ➤ 医用電子機器の国際標準化活動及び産業振興への功績

医用電子機器の安全性等に関わる国際標準機関である IEC/TC62/SC62A, 62D (WG 含む) の国内委員会において、課題解決に向けて中心的な役割を果たした。特に IEC60601-1 (基本安全及び基本性能に関する一般的要求事項) については、関係者とともにも日本から積極的に提案を行い国際規格化に貢献した。

### ➤ 「電子情報産業の世界生産見通し」調査事業の立ち上げへの功績

電子情報産業の世界生産動向の調査にあたり、業界横断的な見通しの策定の手法等を確立するなど事業の基礎を築き、新市場の開拓に寄与する基礎データの確立に貢献した。また、日系企業の位置づけ把握による国際競争力の強化に寄与している「世界生産見通し」の立ち上げに貢献した。

### ➤ 半導体における PFC 排出削減の推進の功績

地球温暖化抑制のための PFC 排出削減の自主行動計画を推進し、目標を上回る削減を達成するとともに政策等にも積極的に協力した。また、最新除害技術の調査・導入支援活動や関連技術の導入等の削減対策について、国際会議等を通じグローバルな排出削減に貢献した。

### ➤ 「電子商取引の普及・促進によるビジネスインフラの整備」への貢献

昭和 61 年以来、24 年に亘って商取引情報、技術情報の企業間での電子交換・再活用による電子機器及び半導体・電子部品等の電子商取引の普及・促進を図った。近年は他業種を含む業界横断的な取り組みにより電子商取引の普及や企業間取引情報の標準化の推進を図り、自動車業界との業際 E D I 化を実現し、業界横断情報連携の大きな礎を構築した。

### ➤ 統計事業「電子部品企業のグローバル動向調査」の功績

電子部品メーカー 80 社以上を対象とした世界初となるグローバル出荷ベースの統計調査を実施、公表を行い、重要な経済指標データとして広く認知されている。なお、本調査は部品業界の新市場の把握のためのデータとして国際競争力の強化に貢献した。また、電子材料、新規成長分野の品目追加等、統計の精度向上を図った。